

# 理科年間指導計画

## 第5学年

### 学習目標

- (1)植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養う。
- (2)物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。
- (3)天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、気象現象や流水の動きの規則性についての見方や考え方を養う。

### 授業の工夫

理科の学習は、自然の事物現象を対象にした問題解決活動であり、直接経験が重要であると考えます。さらに、テレビ、ビデオ、標本などの活用も必要であると考えます。また、ものづくりの活動は、児童が知的好奇心を高め、実感を伴った理解ができるようになるということから、有効な活動であると考えます。

### 年間授業計画

月	単元名	時数		
4	理科の広場 植物の発芽と成長	9	<p>〔評価の観点〕 【自然事象への関心・意欲・態度】 自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。</p> <p>【科学的な思考】 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追求し、量的関係や時間的変化をとらえ、問題を解決する。</p> <p>【観察・実験の技能・表現】 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。</p> <p>【自然事象についての知識・理解】 生命は子孫に受け継がれて連続していることや、物の状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の動きには規則性があることなどを理解している。</p>	
5	動物のたんじょう	9		
6	花から実へ	12		
7	いろいろな花の花粉 広げよう科学の世界を	6		
9	台風と気象情報 わたしたちの気象台	12		
10	てんびんとてこ	8		
11	流れる水のはたらき	10		
12		4		
1	もののとけ方	8		
2	おもりが動くとき	10		<p>〔評価の方法〕 単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、宿題・学習態度・発表など、普段の学習の様子を加味して評価をします。</p>
3		7		
時数		95		